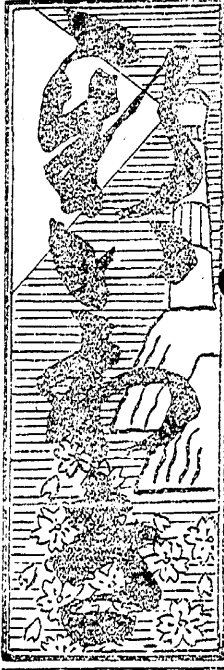


刊夕日三月五



本誌の発行所 新潟県平野町大字五丁目 電話 二五五 郵政 郵便 第五〇二番 郵便 郵便 第五〇二番

一週一言

立春後、光陰真に矢の如く五節は夢の間に過ぎて昨日八十八夜を迎へた、来る六日の立夏を控へて除霜の憂なしとする春盤の掃立期に直前してあるが、先越し苦勞の糸のつれに活況殆んどなし、

凱旋九勇士を迎へ 盛大なる歓迎會

平町役場、青年團、在郷軍人分會主催の出陣凱旋歓迎會は昨日の如く六日午前十時から郷社子爵會社に於ける凱旋報告會後、同十一時から郷社に於ける凱旋勇士

災害の救済工事で 復舊工費十一萬圓は 愈よ決裁されて近く入札

平土木監督所に於て豫て計十一萬圓は愈よ上局の決裁を得たので近く入札に附し急遽着手の筈であつて遅くも来る八月頃までには豫定工事全部を完行の様相であるが同工事は道路十一ヶ所、河川七ヶ所、橋梁二十八ヶ所、海岸二ヶ所の計四十二ヶ所である

炭火の不始末 からご判明

十五日日出火原因 一日深夜平町十五丁目洗張業藤原市太郎方より出火、二棟二戸を全焼、一戸を半焼した原因につき平野署で関係者を召喚取調の結果、右は藤原方の乾燥室の炭火の不始末から附近に置いてあつた汚點抜き用の揮發油瓶に引火した

移轉料不拂問題で 新川豫防工事頓座

組合側の不誠意に對し 附近民からも非難擧る 平町外二ヶ村の新川水害豫防組合工事の一部が組合側の不誠意な態度のため自組自縛的に工事の頓座を來し目下問題となつてゐる、事の起りは同豫防工事事に當り平町字小太郎地内野英雄氏の家庭が邪魔になるからとて組合で同家の一角半の移轉を迫つたので野氏は組合使用人夫の正當なる評價により水道瓦斯等の雜費を除き二百圓の實費移轉料を組合に要求した所組合では移轉につき責任の義務なしとて之を拒絶したので同氏は十數回に亘り組合と折衝の結果組合側でも漸く百圓だけの移轉料をお情け的に支出すると云ふ不誠意も甚しい返答を與へたので野氏は勿論、事情を知る附近の有志も組合側の不當を嗚らし問題の解決までは現住所を一步も

不良カフェー へ彈壓

平野署の眼が光る 最近平町地方のカフェーは不況にかへて南町酌婦街の進出から經營難に陥るもの多くなり大小三十餘軒のうち一流所を除き二流三流のカフェーでは女給が盛んにエロソビをなし善良なる客の眉をひそめさせるやうな癡態を演じて居る者もあるので平野署では嚴重に東山方面に向ひました、

修學旅行通信

警女關西旅行團 第四信... 加茂川の流れる音に今日も又雨かと目をさせば豫想外の好天氣それは皆喜びました、七時半出發電車で桃山御陵に向ひ御陵前に整列し禮拜することしばし、此處で私達は明治大帝を御徳び致しました、乃木大将を祀る乃木神社に參拜し將軍の遺物に接しては日露の役の各將校方の御苦心を思ひそれから電車道を轉じ

前借金横領の 訴へ

好間村中好間川原上洋食店 佐々榮壽は二日平町材木町一五横田平藏を相手取り前借金横領の告訴を平野署へ提起したが理由は平藏が去る十五日娘ヨシミ(二七)を佐々方へ女給に任み込ませ前借金四十五圓を受取つたが二十三日に至りヨシミは女給商賣は厭だと歸宅

神谷村立錫地内 戊辰戦死者追悼碑

六日除幕式を舉行 神谷村大字神谷立錫地内に建立された戊辰の戦死者追悼碑は昨年九月、高岡文夫長壽男、佐藤久三郎の三氏發起となり鈴木長壽、佐藤信敬、酒井國三郎、佐藤錦一の各氏盡力の下に工費五百圓で起工したが此程急よ竣工したので六日午前十時から同碑前に於て關係者多數を招き盛大なる

産馬總代人會

石城産馬畜産組合では九日午前九時から評議員並に代議員會を開き十一時から管内産馬總代人會を開き産馬界不況對策其他につき協議つて豫種畜場長河原田技師の講演がある

靴専門にめきむ 内郷村小島四〇居住、平野村中平窪字吹内六八生れ無職藤田信貞(五七)は三月三十一日午後四時頃内郷村高坂炭礦長屋から軒並に靴、下駄などを盗んだ外郷内各地で靴専門に荒し廻り贓品は片づ端から古道を穿つた句であります

或問答

一(五)一十寸 娘の縁付先へ尋ねて來た里の母親が何か娘に口説かれたと見へて歸り際に溜いと思ふ姑の居る隠居所を覗みながら歸つたと云ふので里の母親として情合は出て居りますがちと穿ち過ぎてあぶない加減になつて居ります

建築の偉大さ、神々しさに驚嘆し雨に烟る山中を過ぎて再びケーブルカーにて坂本に下山しそれより琵琶湖上を汽船にて石山寺へ向ひました、初めて眺めた琵琶湖の美しさ、私共の心に深い印象を残しました、石山寺に參詣し樂式部を偲び石山寺より歸途につく、濱松に午後九時到着、一行辛うじて平なし、明日の天候を期待しつつ今日の疲れを休めて居ります

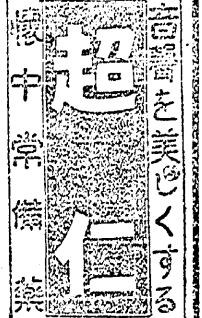


陸稲奨励 (四)  
木橋 技手

一般に耕土深く土質細微であつて適宜の有機物を含有する地を可とす、開墾地又は腐植質土壌の適宜なるは前述せる所である、又灌溉水不足なる水田に於ては寧ろ陸稲栽培を以て得策とし更に採種圃の如きは水稲と同じく水田に栽培するを可とするは左の如くである

陸稲採種試験、畑採種々々  
岡本縣二ヶ年平均一石四斗六升一合、青森縣四ヶ年平均一石六斗六升、岩手縣三ヶ年平均一石七升八合  
水田採種々々岡本縣二ヶ年平均一石五斗八升八合、青森縣四ヶ年平均一石七斗四升、岩手縣三ヶ年平均一石一斗二升三合  
三、輪作、陸稲を栽培する時は土地を著しくせき遊ばしむるが如く考へて一毛作として休閑し又はその栽培を躊躇するけれども輪作に注意する時は決して然るが如き心配はない況んや陸稲地をそのまゝ登春まで放棄するが如きは却て土壤をせき遊ばしめ決して單なる休閑は土地肥沃ならしむるの非ざる理を知らなければならぬ、殊に彌地病の如きは最近の研究によれば土地の繁耕を頻繁ならしむれば大にその連作を避くべき期間を短縮せしめ得るが如くなるも注意すべき事項であらう、輪作は陸稲の栽培上考慮せなければならぬ點であつて陸稲作の消長とは實に密接な關係がある

消化不良  
胃腸弱  
食欲不振  
嘔吐  
腹痛  
便秘  
痔瘡  
婦科  
小兒科  
皮膚科  
泌尿科  
眼科  
耳鼻科  
牙科  
外科  
産科  
婦人科  
院長 木村寅次郎  
電話一六四番



進  
胃腸を美しくする  
本館 東京 本町二丁目五番  
電話 二五三三番

地方代理店 平町 五丁目 山野邊藥局  
特約店を募集す

印刷物は  
— 彩麗な  
ポイントにて  
良く安く早く  
一般の御注文に應じます  
平町大町  
新しいわき印刷部



難波醫院  
— 内科 — 醫學士 難波 睦  
平町大町新川端  
電話五〇二番

内科 小兒科  
大森醫院  
醫學士 大森 勇  
電話二五八番

寫眞  
花と博覽會に  
御出での御記念  
お望みの背景にて  
御用命げせし  
公園表坂の 三光館へ

外科 整形外科 醫學士 松永 憲一  
産科、婦人科 院長 木村寅次郎  
平町新川町一九  
電話一六四番  
木村病院

お醤油は ヤマフル  
醬油 味噌  
たひら 正宗  
鯉節食料品  
鹽屋  
山崎合名會社  
電話 本島 二七番  
平町 二七番  
山崎與三郎

アゲイン  
幾多の治癒劇中逸然として偉効能をいするものは獨り  
肺病、肋膜炎、肺炎カタル等  
定價二圓、四圓、六圓  
特約店 山野邊藥局

朝日煙突  
石綿セメント製  
朝日煙突  
絕對に  
ほせあい  
やくせあい  
くさらない  
経済的で  
突煙の心配が  
金屋商店

子帽  
靴  
下靴  
ヤルツ  
總革製  
七十八錢  
九十錢  
一圓卅錢

工藤鑄造所  
祖先の偉業を後裔に傳へ而して之が高風を敬慕し其の風貌を模倣するは即ち人情至然の發露にして實に人世無二の美德なり其の美德を後世に傳へんと欲せば之を寫眞に待たざるべからず然れども寫眞像は其の一面の描寫にして尙ほ未だ完全なる風貌を記念せんに形像を捉て求むべからざるなり形像には亦彫塑木彫銅像の別あれども彫塑は共に腐蝕汚損の憂ありて永遠の保存に堪へず勢ひ永久汚損の憂なき銅像を探るをも賢明なる策とす  
福島縣平七丁目  
銅像 梵鐘  
金燈籠 銅碑  
工藤鑄造所

高久病院  
内科、小兒科  
外科、花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科  
平町大町、電話五二三番  
院長 醫學士 高久 忠

赤玉印  
フトン袋  
常は布團の御保存に  
旅行にはトランクの代用  
非常の時には非常袋に  
御類似品有赤玉印に注意を願ひます  
松印 夜具五入枚  
竹印 夜具七拾錢  
梅印 夜具貳拾錢  
三重蓋バンド付  
各種陳列目下  
賣出し中！  
特約販賣店 丸ぼん  
平三丁目  
電話三五九